

日本学術会議 環境学委員会
環境政策・環境計画分科会サステナブル投資小委員会（第25期・第9回）
合同会議議事録

日時：2021年12月20日（月）10:00～12:00

場所：遠隔会議

出席者：馬奈木 俊介、池邊 このみ、大塚 直、岸村 顕広、北村 友人、栗山 浩一、阪 智香、西谷 公孝

司会進行：馬奈木

記録：阪

（1）SGDs時代の教育

北村 友人委員から、持続可能な開発のための教育（ESD）が目指す「学び」のあり方として、MDGsの成果、世界が直面する多様な課題、学びの質の問題、SDGsの時代（持続可能な社会の実現）におけるアクセスと質への両面へのアプローチ、教育分野の成果と課題、格差と公正さ、修学継続の阻害要因、教育の質の国家間格差、雇用の変化と求められるスキル、AIやロボット等による代替可能性が低い職業と非認知的能力、新しい学習指導要領のねらいと育成すべき資質・能力（主体的・対話的で深い学び）、柔軟な学びのあり方と格差を広げるリスク、学びの先にあるイノベーション（教育と平等・公正・システムの転換）、持続可能な開発のための教育（ESD）のあり方、ESDの領域と戦略的テーマ、ESDの実践例などについて説明があった。

その後、限られた資源の配分における教育の位置づけ、教育効果に関するエビデンスの必要性和難しさ、教育の出口戦略（働く場所の提供）と産業技術スキルの開発（職業技術訓練）、サステナブル投資の観点からのインクルーシブな教育の効果の数値化、教育と人権・市民性・経済成長、経済・政治・宗教教育の位置づけなどについての質疑応答があり、本分科会にとって有益な議論となった。

（2）議事要旨

議事要旨の提出に関しては委員長に一任することを承認。

（3）次回委員会

2022年1月6日（木）15時～17時。

以上